

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

歴史総合＋世界史探究

【法学部・経済学部・文学部・国際社会科学部】

出題の意図

歴史総合・世界史探究の出題では、高等学校の教科書レベルを原則としています。教科書には、人類の誕生から現代に至るまでの世界中の様々な地域における人間の活動のあらゆる分野に関して記述されています。そのため、世界史の出題は、地域的にも時代的にも多種多様で多岐にわたるものとなります。さらに、世界史の学習が単なる教科書の暗記ではなく、歴史の流れや具体的な出来事の意義を理解し、歴史的な思考力を養うことを目指すものであることから、教科書の記述をそのままなぞるだけではなく、教科書の記述とは異なる視点や文脈から歴史上の出来事や現象を語り問ひかける文章や設問がしばしばみられます。こうした文章での出題は、世界史の学習が、大学で学ぶ人文社会科学の各分野につながることを意識してのものです。さまざまな文章を理解する上で、歴史的な知識を必要とする面があることを、高校生の入試対策の中でもふと考えてほしいと思っています。

こうした問題文は、一見すると教科書のレベルを超えた出題のように見えるかもしれませんが。しかしながら、教科書の記述を十分に理解し、歴史の流れや個々の出来事や現象の歴史的意義を理解していれば、十分に解答を導き出せる設問となっています。このような世界史の問題に対応するためには、まず何よりも教科書を丹念に読み、時代や地域の個性、その項目が扱われることの意味・意義を考えつつ、その内容を理解するように心がけてください。また、『世界史用語集』や各種の『世界史事典』などを利用することをお勧めします。それらの教材を用いて、教科書に書かれている事項の単なる暗記にとどまらず、より広い歴史的な背景の中で歴史的出来事や現象が生起する文脈を掴むようにしてほしいと思います。教科書に書かれた全ての事項の歴史的背景を考えることは難しいと思いますが、興味を持った出来事や現象をいくつか取り上げて、その歴史的背景を考えてまとめるのも良い方法かもしれません。特定の事項について、深く考える経験は、必ず世界史全体への理解を深めることにつながることでしょう。

法学部コア試験・文学部（英語英米文化学科）プラス試験・国際社会科学部プラス試験

解答又は解答例

- I. A (1) ② (2) ④ (3) ④ (4) ④ (5) ③
(6) ③ (7) ② (8) ③ (9) ③ (10) ③
B (1) ② (2) ① (3) ① (4) ① (5) ①
(6) ① (7) ① (8) ② (9) ③ (10) ③

- II. A (1) ④ (2) ② (3) ② (4) ① (5) ④
(6) ④ (7) ③ (8) ② (9) ④ (10) ③

- B (1) ④ (2) ② (3) ④ (4) ② (5) ④
(6) ③ (7) ③ (8) ② (9) ② (10) ④

- III. (1) リサール (2) カティプーナ (3) キューバ
(4) 明白なる運命 (5) マロロス共和国 (6) 興中会
(7) a. タフト b. ドル外交 (8) マニラ麻

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	クレイステネス	リュクルゴス	ドラコン
2	ドニエプル	ヴォルガ	イェルマーク
3	清	後金	呉三桂
4	バスカル	デカルト	ボイル

- V. (1) シオニズム (2) 後ウマイヤ朝 (3) スピノザ
(4) オーストリア (5) ドレフュス (6) アメリカ合衆国
(7) ブラジル (8) ハイチ (9) イギリス
(10) ニュージーランド (11) ドイツ
(12) アーカンソー (13) アパルトヘイト

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I-II はマークシート式の選択問題です。

IA は古代オリエント世界についての出題です。さまざまな民族・諸勢力の興亡との中で展開した諸文化の理解を問うています。

IB は人間の理性という主題に対し、思想と行動の両面から歴史を考える出題です。こうした観点で社会現象を考えてみましょう。

IIA は西欧中世の皇帝理念を題材にしています。君主の称号の持つ理念は君主制を考える上での重要な要素です。歴史上の各地の君主について、理念と共に学ぶ意識を持ちましょう。

IIB は近代中国におけるマルクス主義思想の受容がテーマです。受容の経緯には他国との関係がさまざまな形で影響していることを理解しましょう。

III は記述問題です。19 世紀後半から 20 世紀初頭のフィリピン政治を扱っています。アメリカ・スペイン・日本が絡みながらの歴史的展開を理解しましょう。

IV は正誤問題です。古代ギリシア、中世ロシア、明末清初、近世の科学や思想についての基本的な知識を正確に身につけているかを問うています。単に事柄を覚えるだけでなく、教科書に掲載されているその時代の地図などを学ぶことも意識しましょう。

V は現代の世界各地で起こっている地域紛争や社会問題の背景にある歴史的展開を題材としています。世界史を学んでおくことの意義を深く感じられる題材です。大学入学後の学問を少しイメージしてください。

経済学部コア試験・法学部プラス試験

解答又は解答例

I. A (1) ② (2) ③ (3) ④ (4) ① (5) ②

(6) ① (7) ① (8) ③ (9) ③ (10) ③

B (1) ④ (2) ② (3) ② (4) ① (5) ②

(6) ③ (7) ② (8) ③ (9) ④ (10) ③

C (1) ① (2) ② (3) ① (4) ③ (5) ③

(6) ① (7) ② (8) ③ (9) ④ (10) ③

II. A (1) ③ (2) ② (3) ④ (4) ③ (5) ①

(6) ④ (7) ③ (8) ② (9) ② (10) ②

B (1) ③ (2) ③ (3) ① (4) ④ (5) ④

(6) ② (7) ④ (8) ② (9) ③ (10) ④

III. (1)コンスタンティヌス帝 (2)アタナシウス派

(3)a. フィリップ4世 b.ジョン=ポール

(4)オダアケル (5) ④

(6)アルマダ (7) ②

(8)ウラディミル1世 (9)ルター

(10) b

IV.

.	A (誤)	B (正)	設問
1	ホームステッド	ジム=クロウ	ジョンソン
2	ガリア	エトルリア	ノビレス
3	マテオ=リッチ	カスティリオーネ	第2次アヘン戦争
4	南京	広州	汪兆銘

V. (1)a. 『法の精神』 b. 第1回選挙法改正

c. 最大多数の最大幸福

(2)a. バステューユ牢獄 b. ネッケル

(3)a. アメリカ合衆国 b. ラ=ファイエット

(4)アダム=スミス (5)航海法 (6)大陸封鎖令

(7)サン=マルティン (8)クリオーリョ

(9)アシエンダ制 (10)アステカ王国

(11)オーストラリア (12) ※解答なし

※出題不成立により受験者全員に与点した。

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I~II はマークシート式の選択問題です。

IA は古代中国の国家論に関する出題です。個々の国家やその事情の中に見られる理念に注目して文章を味わってください。

IB はムガル帝国史の中でも反乱に関する出題です。文章の中では、高校世界史でも学習するインドの宗教が、人々の日常のさまざまな側面に浸透していて具体的な反乱に与える影響なども描かれています。

IC は日本と朝鮮との関係を長期にわたって検討した問題です。各時代の様相の中で両国の関係史を理解しましょう。

IIA ではヴァスコ=ダ=ガマの航海を軸に大航海時代の雰囲気味わってください。

IIB はアメリカ独立革命とフランス革命を軸にそれぞれの国の政治史に関する基本事項を問うた文章です。しっかり身につけてください。

III は記述問題です。宗教改革史はプロテスタントの動向に注目が集まっていますが、カトリックの教義の歴史においても重要な時期でした。教科書をしっかり読み込んでください。

IV は正誤問題です。アメリカの黒人奴隷、古代ローマ、清代の中国、中国国民党に関する内容からの出題です。丁寧に正確な知識を身につけているのが問われています。

V はベンサムについて書かれた文章を題材にしています。思想の背後にある世界を理解しましょう。なお、設問 (12)については、貴族院もしくは上院という回答を想定してリード文を作成しましたが、リード文の1行目の、「1295年にエドワード1世によって召集された模範議会の議院」との表現について、この段階で貴族は議会に参加しているものの、貴族集団の議院という形での成熟はまだ見られないといえます。上記表現に続くリード文により、問題の趣旨は近世以降の貴族院であることは判明しますが、前述の冒頭の表現は受験生を混乱させる表現であるため、全員に得点を与えました。

文学部コア試験

解答又は解答例

I. A (1) ③ (2) ② (3) ② (4) ① (5) ②

(6) ③ (7) ② (8) ④ (9) ① (10) ①

B (1) ② (2) ③ (3) ② (4) ④ (5) ②

(6) ② (7) ③ (8) ④ (9) ① (10) ①

II. A (1) ① (2) ④ (3) ① (4) ④ (5) ④

(6) ② (7) ③ (8) ④ (9) ②

B (1) ④ (2) ① (3) ③ (4) ① (5) ②

(6) ③ (7) ① (8) ③ (9) ②

- III. (1)義和団戦争 (2)鄒衍 (3)焚書 (4)商鞅
(5)則天武后 (6)ヘディン (7)莫高窟 (8)孫權

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	アケメネス朝	ササン朝	テトラルキア
2	蘇軾	白居易	五斗米道
3	康熙帝	乾隆帝	南京条約
4	スティーヴンソン	アークライト	ラダイト運動

V. A (以下は模範的な解答例)

18 世紀のイギリスでは喫茶の習慣が広まり中国茶への需要が拡大すると、東インド会社を通じた広州からの茶輸入も急増し、多くの銀がイギリスから清に流出した。そこでイギリスは綿織物を植民地インドに輸出し、インドで生産されるアヘンを清に密輸する三角貿易を始めた。アヘン輸入の増大は、清からの銀流出・銀価格の高騰を招き、銅銭で納税していた農民を苦しめ、多くの税不払い者を生み、清朝が財政難に陥る要因となった。(200 字)

B (以下は模範的な解答例)

前 7 世紀アテネでは重装歩兵として軍隊の主力となった平民が参政権を貴族に要求、貴族が知識を独占する慣習法に代わってドラコンが初めての成文法を定めた。前 6 世紀初ソロンが貴族と平民の調停者として財産額で参政権を決める財産政治を始めた。その後ペイシストラトスの非合法な僭主政を経て、前 6 世紀末クレステネスが僭主の出現を阻止する陶片追放の制度を作り、血縁から地縁へと部族制を改革して民主政の基礎を築いた。(200 字)

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I~II はマークシート式の選択問題です。

IA はアブレイウスという哲学者を軸に彼の思想と古代史の基本事項に関連させた問題です。各単元で学習した内容の話題が一人の人物に関連してくる様相を理解しましょう。

IB は中世シチリアの歴史を題材としています。この島の異文化接触の歴史的展開の面白さを味わってください。なお、解答には影響はありませんが、設問文中の教皇グレゴリウス 9 世という記述は誤りで、正しくは教皇ホノリウス 3 世です。

IIA はレオという名の教皇を題材にした問題です。新教皇レオ 14 世の誕生、という時事から過去を振り返ってみるような感覚も、学問的思考のきっかけになります。

IIB は唐末から宋までの北方民族史を扱っています。各民族の勢力関係の変遷を理解しましょう。なお、設問への影響はないですが、936 年に

燕雲十六州を得た、という部分の主語は契丹ですが、省略されているので耶律阿保機と誤解されかねない不明瞭な文になっていることをお詫びします。

III は記述問題です。竹簡・木簡、文字、そこに書かれる内容や利用方法などを取り上げ、歴史学の素材となる史料の様子を伝える文章です。焚書坑儒、と四字熟語で覚えがちな表現ですが、焚書と坑儒の意味が異なることを理解した上で設問(3)を解答しましょう。

IV は正誤問題です。古代ローマ、唐の文化、中国の港湾都市、産業革命期の科学技術に関する問題です。それぞれ内容の特徴を含んだ正確な知識が求められています。

V は論述問題です。A は清代の経済、財政と戦争との関係性、B は古代ギリシアの政治史を問うた設問で、いずれも教科書の説明文をきちんと読み正確な知識を得ていれば記述できる問題です。個々の歴史的現象の関係性、つながり方を意識して学習しましょう。

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

解答又は解答例

- I. A (1) ③ (2) ① (3) ③ (4) ① (5) ②
(6) ③ (7) ② (8) ④ (9) ① (10) ③
B (1) ② (2) ④ (3) ③ (4) ① (5) ②
(6) ② (7) ② (8) ① (9) ② (10) ③
- II. A (1) ③ (2) ① (3) ③ (4) ① (5) ①
(6) ④ (7) ① (8) ③ (9) ② (10) ④
B (1) ② (2) ③ (3) ③ (4) ④ (5) ②
(6) ② (7) ① (8) ② (9) ④ (10) ②
- III. (1)ディクタトル (2)アントニウス (3)ローマの平和
(4)五賢帝 (5)ダキア (6)クテシフォン
(7)ブリタニア (8)自省録 (9)カラカラ

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	アリスタルコス	アリストファネス	アイスキュロス
2	ブルグンド	西ゴート	祈り、働け
3	ドイツ関税同盟	北ドイツ連邦	文化闘争
4	『仏国記』	『南海寄帰内法伝』	寇謙之

- V. (1)サライェヴォ (2)ノルマンディー (3)アルキメデス
(4)アンシャン・レジーム (5)クリミア戦争
(6)ファラデー (7)ゲティスバーグ (8)ムッソリーニ
(9)アインシュタイン (10)ニューディール政策
(11)量子力学 (12)ポーランド (13)ポツダム宣言

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I~II はマークシート式の選択問題です。

IA は中国古代の北方民族史に関する基本問題です。中国との関係を意識して各民族の動向を理解しましょう。

IB は近代東南アジア史からの出題で、タイとミャンマーを取り上げています。世界史の中での東南アジア史、という視点での学習も大事です。

IIA 世論アンケートを題材に、戦争等に関する人々の感情を綴った文章を題材にしています。歴史的現象に対して、どう感じるか、という視点も、歴史を学ぶ中で考えていただきたい内容となっています。

IIB は、歴史的背景にも言及しつつ中国近現代史の展開を扱っています。現代中国を理解する上で重要な内容が含まれています。

III は古代ローマの元首政を取り上げています。皇帝たち一人一人の治世の個性を楽しんで文章を読んでください。

IV は正誤問題です。古代ギリシアの文化史、初期中世ヨーロッパ史、ドイツ近代史、仏教の伝播を取り上げています。いずれも基本的な問題です。正確な漢字を書けるように普段から気を付けて学習しましょう。

V は科学技術史に関する文章からの出題です。科学技術と社会との関わりの歴史は、現代社会の理解やあるべき方向を考える上でも欠かせないテーマに連なるものです。設問(11)の解答は、教科書には書かれているものの見落とししやすいものでもありますが、常識的な面も含め、知識として身につけておいてほしい内容です。

国際文化交流学部コア試験

出題の意図

出題分野

I ルーマニアの歴史

II ジェノサイドの歴史

III 東アジアにおけるロシアの歴史

IV 韓国と日本の交流の歴史

V 宇宙開発の歴史

歴史総合・世界史探求では、高等学校の教科書で扱われている知識が身につけているのかが、様々な設問によって問われるようなものとされています。リード文の中には教科書で扱われていないような事項も含まれていますが、個々の設問はあくまで教科書レベルの知識で十分に回答できるような配慮がなされています。世界史においては、個々の事項をただ単に暗記するのみならず、その一つ一つが他の地域や他の時代とどのように関連しているのかを理解することが重要です。そのため、用語集で頻度の高い用語を確認することは大事ですが、それよりも教科書の本文の文章を何度も熟読し、全体的な流れを十分につかむようにして下さい。教科書に掲載されている挿絵や写真、地図にもよく目を通し、地理的な位置関係、また、それぞれの時代や地域で見られた重要な史実をビジュアルな形で理解することが望ましいです。

解答又は解答例

I. 問1 トラヤヌス (トラヤヌス帝も可)

問2 b 問3 イブン=バットゥータ

問4 モンテネグロ 問5 d

問6 c 問7 c

問8 a 問9 チャウシェスク

問10 b

II. 問1 d 問2 トルコマンチャーイ (条約)

問3 d 問4 グロティウス

問5 ニュルンベルク 問6 バビロン捕囚

問7 c 問8 シハヌーク

問9 b 問10 d

III. 問1 扶清滅洋 問2 ニコライ1世

問3 d 問4 a

問5 カリブ 問6 b

問7 大西洋憲章 問8 c

問9 d 問10 CIS

- | | |
|-------------|--------------|
| IV. 問1 a | 問2 渡来人 |
| 問3 b | 問4 壬辰 |
| 問5 朝鮮通信使 | 問6 対馬（対馬島も可） |
| 問7 江華島 | 問8 c |
| 問9 d | 問10 c |
| V. 問1 パキスタン | 問2 a |
| 問3 スプートニク | 問4 アボロ |
| 問5 サイゴン | 問6 d |
| 問7 c | 問8 牛肉、オレンジ |
| 問9 b | 問10 c |

解答の際の留意点

解答方法は用語の記述と四択によるマークシートから成っています。各大問のリード文は特定のテーマに関する文章となっており、関連する空欄ないしは下線部より個々の小問が設定されています。人名、条約名、関連する地名、重要な歴史用語は正確に記すことが求められます。漢字の間違ひの他、カタカナ表記における濁音と小文字の誤記も減点の対象となります。年度によって多少の違いはありますが、できるだけ幅広い時代と地域をカバーするようにしています。同じ歴史的事象でも様々な記述の仕方がありますので、1冊のみならず、複数の教科書を丹念に読み比べてバランスの良い知識を身につけておくことを推奨します。